

全個室新学生寮が完成

29日 川崎学園50周年記念
利用開始



完成した川崎学園の学生寮

川崎学園（倉敷市松島）が川崎医療短大（同所）の敷地内に建設を進めていた学生寮が完成し25日、開寮式が同所であった。創立50周年記念事業の一環。

寮名は「このはな寮」。鉄筋コンクリート10階（延べ約1万4500平方メートル）に全個室の514室を整備。学生の入退出を玄関のセンサーで把握できる鍵の導入などでセキュリティを高めた。和洋の大浴場2室を備え、一般も利用できるレストラン、コンビニを併設する。総事業費は約35億円。

式には関係者ら約15

人が出席。学生が利用する川崎医療福祉大と川崎医療短大の椿原彰夫学長は、学園初代理事長の故川崎祐宣氏がキャンパスに植えた梅の別名にちなんで寮名を付けたことに触れ、「梅の花のように控えめで芯のある優秀な人材を育てたい」とあいさつ。同短大看護科1年の泉結衣奈さん（19）は「快適でゆとりのある空間で勉学に励みたい」と述べた。

1970年に整備した学生寮が新耐震基準を満たしていないため建て替えた。29日から約410人が生活を始める。

（山内悠記子）